

# 平成29年度 学校版環境 ISO への取り組み

～学校・家庭・地域と連携した環境教育～

宇土市立網田小学校

## 1 はじめに

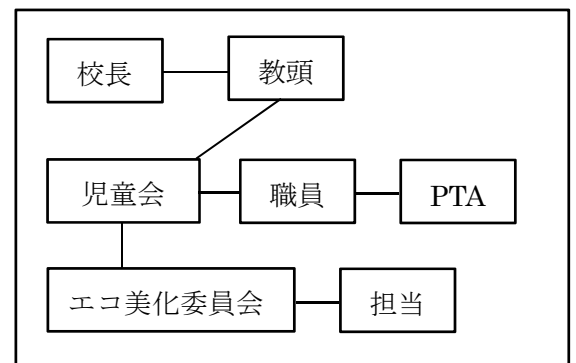
本校は宇土半島中央部の北側に有明海に面した風光明媚な網田の里にある。校区内には日本の渚100選にも選ばれた“御輿来（おこしき）海岸”を有する。海の幸山の幸に恵まれ、その環境の良さに3つの窯元が開かれ、文化的にも知られた土地である。環境に恵まれた本校区において、環境保全は必然のものであり、ごみ問題・リサイクルなど全住民が一体となって取り組んでいかなければならないものである。地域の未来、将来を担う子どもたちに毎日の掃除やボランティア活動等を通して学校・地域を愛する心情を育てながら、学校版環境 ISO の取組を進めているところである。



【御輿来（おこしき）海岸】

## 2 組織作り

児童会活動に環境美化を進める委員会活動である通称「エコ美化（ピカ）委員会」を組織している。これを中心に、全児童・全職員で行動目標を宣言文として取りまとめ実践している。



## 3 今年度の取り組み

### (1) 環境 ISO 宣言

「エコ美化委員会」では、まず前年度の宣言項目を土台に本年度の宣言項目の内容の検討を行った。そして、本年度の宣言文を児童集会において提案し、全児童で取り組むことを確認した。また、教師も児童の活動と連動して環境宣言を作成・実践している。

平成29年度はこの宣言を守って生活していきます。  
昨年度と比べ、電気使用量と水道水使用量を減らします。



### 学校版環境 ISO 宣言項目（児童用）

- 1 水は大切に使います。
  - バケツ1ばいの水でそうじします。
  - コップ1ばいの水で歯みがきします。
  - 水道の蛇口をしっかり閉めます。
- 2 電気は大切に使います。
  - 誰もいない教室の電気やエアコンは消します。
  - 誰もいないトイレの電気は消します。
- 3 校舎、校庭の美化作業に努めます。
  - 朝のボランティア活動をがんばります。
  - 校庭や校舎内にゴミは落としません。
  - 校庭や校舎内でゴミを見つけたら拾います。
  - 花をかわいがり、花いっぱい学校にします。

### 学校版環境 I S O 宣言項目（教師用）

- 1 水は大切に使います。
- 2 電気は大切に使います。
- 3 校舎、校庭の美化作業に努めます。
- 4 両面印刷や裏紙利用で、紙の消費量を昨年度より 5%減らします。

教師も児童同様に宣言し、児童と一緒にがんばっていきます。また、今年度は紙の使用量を昨年度より 5%減を目指します。



## (2) 活動の内容

### ア エコ美化委員会の活動

#### ① 全校への呼びかけ

児童集会で、今年度の学校版環境ISO宣言項目について提案し、学校全体で取り組んでいくことを確認した。また、教室にも宣言項目を掲示し意識が高まるようにした。日頃から各学年のエコ美化委員会を中心に節電、節水を心掛け、休み時間や使わない教室の電気は消すように努めている。また、コップ一杯の水で歯磨きをしたり、掃除の際は、バケツ1杯の水で雑巾を洗ったりする取り組みを続けている。



【児童集会で呼びかけているところ】

#### ② 掃除チェック

学期に一度、1週間掃除チェックを行い、ゴミの始末や雑巾のかけ方など気づいたことを給食時間に放送し、全校でゴミのないきれいな学校を意識しながら取り組んでいる。

#### ③ 朝の活動

毎朝、玄関に置かれた鉢植えの植物への水かけを行っている。今は、春にきれいな花を咲かせ6年生を花いっぱいを送り出すためにチューリップの球根を植えてお世話をしている。

#### ④ 地域啓発

地域の方々が多く集まる運動会では、昼食前に「来た時よりも美しく」との呼びかけを行っている。学校版環境 I S O に取り組んでいることを保護者・地域の方へ伝え、ゴミの持ち帰りや分別・再利用を訴えた。昼食後はそれを心掛けていただいたおかげで、チリも無く気持ちよく、午後の競技を行うことができた。

### イ 学校をきれいに（縦割り班活動）

本校では、朝の始業前のボランティア活動として縦割り班花壇のお世話、落ち葉掃きや校内の草取りなど、校内美化に取り組んでいる。また、6月、10月、2月の年3回、縦割り班毎に季節に応じた花の苗植えを行い、水かけや草取りなどお世話をしている。各班に担当の場所を設け、6年生をリーダーとして活動を続け花いっぱいの学校を目指している。毎日の掃除活動では、1ヶ月毎に掃除場所を変えて6年生を中心に無言掃除を心がける。掃除のやり方などは高学年が手本となり受け継がれている。

#### ウ 紙の再利用・両面印刷など

職員では、使用済みの紙を回収して資源ゴミに出したり、プリントは両面印刷をしたりして心掛けている。「裏面が使用できるものは所定の場所に置く。」、「裏面は、職員への連絡プリントなどに再利用する。」、「利用できない紙は、回収して業者に引き取ってもらう。」など、当然のこととして取り組むことができている。また、ペットボトル等の分別も行い定期的に業者に出している。

【裏面利用する用紙置き場】



#### エ クリーンクリーン網田

本校では小中連携教育の取り組みの一つとして、「クリーンクリーン網田」という活動を毎年行っている。これは小学校と中学校の全児童生徒が、縦割りのグループに分かれ、校区内のゴミ拾いを行う活動である。児童生徒が協力して取り組むことによって小学生は中学生から環境の大切さ、ゴミを捨てないことの大切さと実行力を学んでいる。中学生は小学生と一緒に活動することで、小学生の手本として振る舞うことを学んでいる。自分たちの住んでいる地域を自ら清掃することにより、環境保全への意識を今後とも培っていききたい。



【中学生と一緒にゴミ拾い】



【中学生に相談しながらゴミ分別】

#### オ 緑のカーテン

本年度も緑のカーテンに取り組んだ。本年度は、1年生が生活科の学習で育てる朝顔の苗を植えた花壇をそのまま緑のカーテンに仕立てていった。朝顔の水かけ等のお世話は1年生中心で行った。花を楽しんだり種取を楽しんだりしながら育てた朝顔の後始末は、エコ美化委員会と飼育委員会で行った。1年生の教室の横で育てた緑のカーテンは、暑い夏の日差しを遮ってくれて、教室と緑のカーテンとの間で遊んだり朝顔の観察をしたりする1年生の姿が見られ、来年へ向けての意欲につながっている。



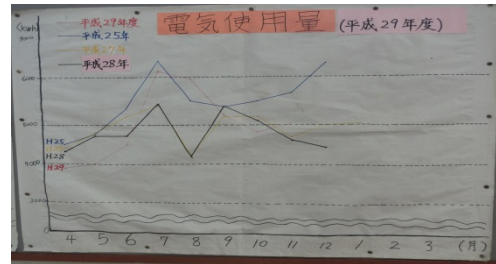
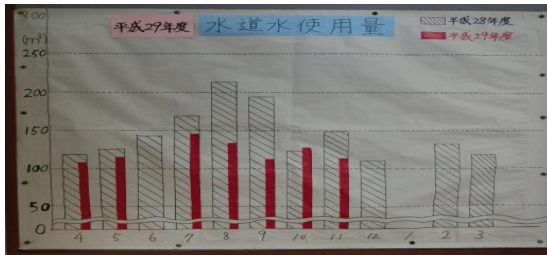
【朝顔のカーテン】

カ 水俣に学ぶ肥後っ子教室

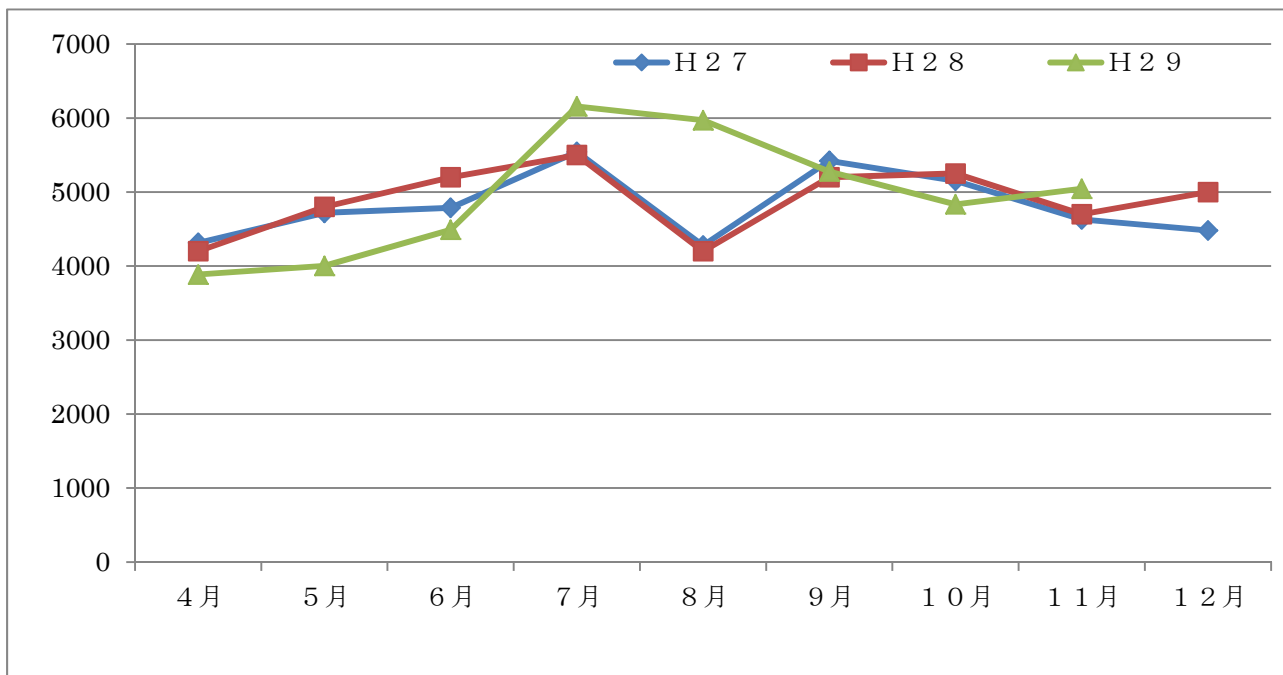
5年生は11月に水俣市での現地学習を実施した。エコなど環境教育について先進的な取り組みをされている水俣市の事例はとても勉強になった。このときの学習を基に調べ学習を中心に学習を深め、個々で1枚の新聞にまとめたり表現集会で全校に呼びかけたりした。3月の学習発表会では、保護者や地域の方に対して網田小や水俣市の取組を紹介するとともに、網田地区の環境保全の在り方など児童の視点から感じたことを投げかけ、取組の見直しができるように発表する予定である。

キ 電気および水道使用量調査

エコ美化委員会では、各月の電気および水道の使用量について広用紙に記録している。見える化した表は児童にとっても見やすく、常にISOの取組を意識できる。特に、これまでの使用量と比較することで、みんなの意欲も高まっている。



【掲示しているグラフ】



#### 4 成果と課題

始業前の朝のボランティア活動を続けてきていることで、児童に環境美化を頑張っていこうという心や姿勢が培われてきている。朝早くから草取りをしたり、落ち葉をかき集めたりしながら、気持ちのよいあいさつをしている児童が増え、とてもよい雰囲気ができている。昨年度は、地震等があり水道や電気の使用量調べが途絶えてしまうこともあったが、本年度は毎月の使用量をグラフに示すことができている。また、昨年度は環境 ISO 宣言の周知が十分でなかったが、本年度は児童集会で定期的に紹介することができた。しかし、学校全体の取り組みへの意識が高まらず、常に児童一人一人の意識と態度の向上を目指していく必要がある。更に、頑張っている児童、学級や縦割り班を表彰するなど、今後とも全児童と全職員で環境に優しい学校づくりを進めていきたい。

水道および電気の使用量については、児童も職員も気をつけているため平成 26 年度よりも若干減っている。本年度の電気使用量は、平成 26 年度比で 1.1% 減、平成 27 年度比では 1.7% 増となった。本年度は、昨年度比で 1.6% 増となった。今年、猛暑が続いたことも関係しているのではないかと。また、昨年度から週 6 日間学童クラブが教室を使用し、そこで使用される電気量も含まれているとを加味すれば、環境 ISO の取組は少なからず成果が表れているといえる。水道水の使用量に関しては、昨年度比で 21.2% 減となっており全児童、全職員の意識が高まったと言える。

最後になるが、学校の草木の管理等は P T A 美化体育委員会の協力で維持できている。学校環境は児童、教職員、保護者、地域の方の高い協力意識のうえで成り立っていると強く感じている。今後も日々の取組を見直しながら、環境 ISO 宣言の実践の充実を図り、それを発信していきたい。